

「検査と技術」第22巻 総目次

1994年(第1号～第13号)

数字は通巻頁数, ()は号数

〔病気のはなし〕

パーキンソン病	……神宝 知行	……6(1)
播種性血管内凝固症候群	……高橋 芳右	……96(2)
Castleman 病	……堀江 良一	……194(3)
間質性腎炎	……中山 真人	……304(4)
肺炎	……西野 隆義・神津 忠彦	……386(6)
ホジキン病	……河野 彰夫・竹内 武昭	……474(7)
心筋梗塞	……古野 貴志・土居 義典	……558(8)
鉄欠乏性貧血と二次性貧血	……白倉 卓夫	……664(9)
疥癬	……田辺恵美子	……764(10)
ミオパチー	……織茂 智之・古川 哲雄	……848(11)
混合性結合組織病	……竹村 周平	……946(12)
肺気腫	……若山 公作・栗原 直嗣	……1034(13)

〔検査法の基礎〕

パルスオキシメータ	……鶴川 貞二	……11(1)
トロンボモジュリン測定法と臨床的意義	……木崎景一郎・石井 秀美	……17(1)
蛋白質定量法のしくみ	……青木 芳和	……103(2)
耐熱性酵素の性質と検査薬への応用	……近藤 仁司	……111(2)
抗カルジオリピン抗体の測定法	……長野百合子・吉野谷定美	……203(3)
尿濃縮, 希釈試験	……安藤 明利・渡辺 由香	……311(4)
α -アミラーゼ活性の酵素的分析法の設計—マ ルトオリゴ糖誘導体を基質として	……馬島 肇一・浅野 茂樹・手嶋 眞一 菊地 俊郎・川村 良久	……317(4)
感染性腸炎の動向	……相楽 裕子	……393(6)
心電図自動診断の有用性と問題点	……加藤 貴雄	……399(6)
Ham 試験における補体活性化と溶血の機序	……藤岡 成徳	……481(7)
心筋コントラストエコー図法	……増山 理・南都 伸介・林 英宰	……487(7)
パパニコロウ染色	……山岸紀美江	……565(8)
検出菌の臨床的意義—気道由来検体	……高橋 洋・渡辺 彰	……673(9)
自動尿沈渣分析装置の測定原理	……前島 隆雄・新井 信夫・藤本 敬二	……769(10)
緩衝ホルマリンの有用性		

.....金子 伸行・岩坂 茂.....	855(11)
経皮的血液ガス分圧の測定原理と検査法	
.....石山 陽事.....	861(11)
検出菌の臨床的意義—血液	舟田 久.....951(12)
血清分離剤	松崎 廣子.....957(12)
尿中低分子蛋白	黒田 雅顕... 1041(13)
病理診断と特殊染色	小島 勝... 1049(13)

〔技術講座〕

生化学

ドライケミストリーによる血清酵素活性値の 正確さの合わせかた	……白井 秀明・桑 克彦	……25(1)
血清アルブミンアダーゼ活性の測定法	……松本 祐之・中根 清司	……323(4)
ポルフィリンの検査法	……近藤 雅雄	……411(6)
血清アミロイド A(SAA) 蛋白の臨床的意義と 分子生物学的背景	……香坂 隆夫	……679(9)
コレステロールエステル転送蛋白(CETP)測 定法	……山下 静也	……775(10)
キャピラリー電気泳動による臨床試料中の蛋 白質の分析	……平岡 厚	……869(11)
DNA 自動抽出装置の有用性と問題点	……加藤 享子・引地 一昌	……873(11)
HPLC による総コレステロールと HDL コレ ステロールの同時測定	……岡崎 三代	……1055(13)

血液

骨髓像の読みかた [3] 間違いやすい細胞間の鑑 別	……八幡 義人	……31(1)
末梢血液像検査	……山口 潜	……119(2)
末梢血からの白血病診断	……稲垣 恵章・浅井 正樹	……687(9)
トロンボテスト	……櫻川 信男	……783(10)
赤血球沈降速度測定	……亀井喜恵子	……879(11)
鉄染色と鉄芽球カウント法	……相賀 静子	……965(12)
血小板アロ抗体とイソ抗体	……佐治 博夫	……1063(13)

輸血

適合血選択のための検査の進めかた	……棚町 博文・前田 義章	……493(7)
------------------	---------------	----------

免疫(血清)

抗赤血球自己抗体	……平野 武道・半田 誠・田野崎隆二	……208(3)
IgG-RF	……松本 文枝・武部 功	……405(6)

微生物

EIA 法によるクラミジアトラコマトシスの検出林 謙治.....125(2)

感受性試験のための抗菌剤の基礎知識 [1] β -ラクタム剤
...井上 松久・長曾部紀子・島内千恵子
井田 孝志.....331(4)

感受性試験のための抗菌剤の基礎知識 [2] アミノ配糖体系薬剤およびキノロン系薬剤
...井上 松久・島内千恵子・井田 孝志.....419(6)

感受性試験のための抗菌剤の基礎知識 [3] その他の薬剤
...井上 松久・長曾部紀子・島内千恵子
井田 孝志.....501(7)

細菌自動器械の原理と使用法山根 誠久.....695(9)

mecA 測定法坂東 明美・奥住 捷子.....971(12)

病 理

神経・筋疾患における骨格筋の病理学的検査
...村上 俊一・石井 孝子・山岡 愛子
岩野 裕子・貝原 侃子・佐藤 孝夫571(8)

組織内に沈着した微量金属の組織化学的検出法鷺見 和.....787(10)

HE 標本の退色の防ぎかた
.....鈴木由美恵・金子 伸行.....977(12)

術中迅速診断用標本の作りかた西見 博之... 1071(13)

生 理

腹部の超音波の見かた [1] 肝臓, 脾臓
.....土肥美智子・辻本 文雄..... 38(1)

腹部の超音波の見かた [2] 胆道・脾臓
.....土肥美智子・辻本 文雄.....129(2)

腹部の超音波の見かた [3] 腎・副腎
...土肥美智子・宮本 幸夫・辻本 文雄.....337(4)

心電図・心音図に混入するアーチファクト
—原因と対策
...加賀谷 茂・久保田 功・齊藤 康.....701(9)

一 般

チオ硫酸ナトリウムおよびパラアミノ馬尿酸クリアランスの測定
.....山西 八朗・今井 宣子.....137(2)

尿沈渣染色法稲垣 勇夫.....425(6)

ヘモグロビン尿とミオグロビン尿の測定と鑑別竹立 精司・入江 章子.....507(7)

細菌尿のスクリーニング田中美智男.....793(10)

羊水の一般検査油野 友二.....887(11)

便培養検査犬塚 和久.....983(12)

尿中微量アルブミンの簡易検査法
...一柳 好江・榊間 利政・野口 享秀... 1076(13)

〔マスターしよう検査技術〕

エッペンドルフ型マイクロピペットの使いかた
.....柳澤 勉..... 51(1)

補体の扱いかたと補体価測定

.....中村 史明・山岸 安子.....149(2)

心エコー図法の検査技術
...遠田 栄一・大和 京子・高師 里美
寿賀 敏光.....217(3)

原虫の検査大西 健児.....347(4)

無散瞳眼底写真検査土坂 寿行.....437(6)

テストで何が測れるか加納 隆.....515(7)

孵卵器とオートクレープの管理佐竹 幸子.....597(8)

血液型の判定松田 仁志.....713(9)

検体検査のバイオセフティ
...正路喜代美・丸山 茂樹・新井 和明.....801(10)

平衡機能検査竹森 節子.....897(11)

IgG-RF(IgG リウマトイド因子)検査法
.....吉野谷定美・三上 恵世.....995(12)

尿の一般定性検査
.....五十嵐すみ子・八木沢勝美
金子 治司・宮内 喬子... 1085(13)

〔生体のメカニズム・遺伝子の異常〕

遺伝子の発現制御—特に転写制御について
...大川 淳・多比良和誠・武部 豊..... 61(1)

癌と遺伝子黒田 敏彦.....159(2)

ウイルスと発癌青木 直人.....227(3)

発癌遺伝子の発現と活性化山村 研一.....355(4)

遺伝子病と遺伝する疾患孫田 信一.....443(6)

細胞内シグナル伝達と分化, 増殖
.....市野 素英.....527(7)

癌抑制遺伝子 [1]大村 宏・押村 光雄.....587(8)

癌抑制遺伝子 [2]三浦 典正・押村 光雄.....719(9)

遺伝子疾患—血友病, フェニルケトン尿症
.....利見 和夫.....809(10)

筋ジストロフィー林 由起子・荒畑 喜一.....913(11)

高脂血症・糖尿病下川耕太郎・門脇 孝... 1001(12)

遺伝子治療平井 久丸... 1091(13)

〔検査ファイル〕

イオン化カルシウム測定時の低濃度ヘパリン
採血法多田 三男..... 73(1)

BAL古田 知行・工藤 翔二..... 74(1)

C1-インヒビター三上 恵世..... 75(1)

カウンター親和電気泳動法藤田 清貴..... 76(1)

総コレステロール/HDL-コレステロール標準
血清藤野 章子.....169(2)

腎生検北島 武之.....170(2)

異型狭心症高谷 純司.....171(2)

パラフィン切片用薄切用替刃メスの長所と短所
.....岡崎 綾子・恒吉 正澄.....173(2)

HLA の DNA 検査法
.....徳永 勝士・十字 猛夫.....235(3)

LD ₁ アイソザイムの測定方法	白波瀬泰史・渡津 吉史	236(3)
病理診断報告書の整理と保存	長谷川章雄	237(3)
メラニン尿	古市 佳也	238(3)
クラス I 機器	清水加代子	365(4)
組織の <i>in situ</i> hybridization と PCR	小幡 博人	366(4)
経皮的血液ガス分圧の測定	福永 壽晴	367(4)
MIC 測定用乾燥プレート	池戸 正成	369(4)
selectivity index	日高 寿美・街 稔・長瀬 光昌	453(6)
半分子型免疫グロブリン	大竹 皓子	454(6)
音響陰影	仲宗根 出	455(6)
フローサイトメトリーとパラフィン切片	福島 純一・佐々木 学	456(6)
輸血後移植片対宿主病(GVHD)	高橋 孝喜	534(7)
マスト細胞の機能	実宝 智子	535(7)
脂肪染色	川島 徹	536(7)
伊東細胞の病理組織学的検出法	森 正也・町並 陸生	537(7)
胎児性フィブロンネクチン(FN)による早産の予知	柳沼 恣	592(8)
自動封入機	金子 伸行	593(8)
酵素標品の使いかた	桑 克彦	594(8)
RNA 高含有網状赤血球	鈴木 洋司	595(8)
フローティング電源	清水 芳雄	735(9)
甲状腺刺激ホルモンレセプター抗体	笠木 寛治	736(9)
ペロ毒素(VT 1, VT 2)検出キット	甲斐 明美	737(9)
エンドトキシンの測定法	福井 博	738(9)
心電計の漏れ電流	清水加代子	829(10)
緩和時間(MRI)	荒木 力	830(10)
グリコアルブミンの測定	中谷 茂・加藤 芳男	831(10)
Biolog System	広瀬 健二	832(10)
MHC クラス I, クラス II	乾 誠治・阪口 薫雄	922(11)
カラードブラ法	佐藤 茂	923(11)
レムナント・リポ蛋白(RLP-コレステロール)の測定	中野 隆光・中嶋 克行	924(11)
画像解析装置の病理組織学への応用	菅原 修	925(11)
リンパ球機能と CD	後藤 真	1009(12)
副甲状腺ホルモン関連蛋白(PTHrP)の測定	羽根 求	1010(12)
アンチトロンビンⅢの先天性異常	阿部 弘樹	1011(12)
スピニング法	田中 邦雄	1012(12)
組織診と細胞診	長谷川章雄	1100(13)
免疫比濁法による HbA _{1c} 測定	渡野 達朗	1101(13)
アクチビン A と肝再生の制御		

…安田 宏・峯 徹哉・小島 至…	1102(13)
プロテアーゼによる ASTm の測定法白波瀬泰史…	1103(13)

〔わかりやすい学会スライドの作りかた〕

総論：学会スライドの作製と発表の基本ルール	桑 克彦	48(1)
各論 1：臨床化学	桑 克彦	174(2)
各論 2：細菌	和田 光一	224(3)
各論 3：血液	米満 博	352(4)
各論 4：生理	石出 信正	434(6)
各論 5：一般検査	伊藤 機一・八木 靖二	524(7)
各論 6：免疫血清	加藤 亮二	584(8)
各論 7：病理	小島 勝	726(9)
マッキントッシュによるスライド作製 ① 入門	編 宮澤 六郎・中平 雄水	814(10)
マッキントッシュによるスライド作製 ② 実践	編 宮澤 六郎・中平 雄水	
	美山 晃	928(11)
表を図で示す工夫 ①	桑 克彦	1006(12)
表を図で示す工夫 ②	桑 克彦	1104(13)

〔ラボ・クイズ〕

問 題

白血球増加症の 2 例	山口 潜	66(1)
電気泳動パターン	橋本寿美子	146(2)
病理組織標本の染色	黒住 昌史	200(3)
血液	山口 潜	344(4)
電気泳動パターンから	堀井 康司	432(6)
病理組織標本の染色	黒住 昌史	512(7)
徐々に進行する貧血を主訴とする 2 症例	山口 潜	582(8)
電気泳動パターン	橋本寿美子・星野 忠	710(9)
病理組織標本の染色	黒住 昌史	798(10)
電気泳動パターン	大竹 皓子	894(11)
病理組織標本の染色	黒住 昌史	992(12)
尿沈渣中のアーチファクト	斎藤 融子	1082(13)

解答と解説

'93 年 12 月号	石山 尚子・畠山 靖子	67(1)
1 月号	山口 潜	147(2)
2 月号	橋本寿美子	201(3)
3 月号	黒住 昌史	345(4)
4 月号	山口 潜	433(6)
5 月号	堀井 康司	513(7)
6 月号	黒住 昌史	583(8)
7 月号	山口 潜	711(9)
8 月号	橋本寿美子・星野 忠	799(10)
9 月号	黒住 昌史	895(11)
10 月号	大竹 皓子	993(12)
11 月号	黒住 昌史	1083(13)

増刊・5号<免疫検査実践マニュアル>

序	大久保昭行	15(5)
総論		
I. 免疫反応の原理		18(5)
1. 液性免疫反応	吉野谷定美・三上 恵世	18(5)
2. 細胞性免疫反応	吉田 浩	23(5)
3. 免疫調節とサイトカイン	北村 聖	27(5)
II. 免疫学的測定法		35(5)
1. 沈降反応—免疫拡散法, 免疫電気泳動法, 免疫固定法	大谷 英樹	35(5)
2. 凝集反応		
(1) 赤血球凝集反応, 受身(間接)凝集反応	内川 誠	38(5)
(2) 免疫比濁法, 免疫比濁法	伊藤 忠一	42(5)
3. 溶解反応, 中和反応, 抑制反応	中村 正夫	44(5)
4. 補体結合反応	水岡 慶二	49(5)
5. 標識免疫測定法		52(5)
(1) ヘテロジニアス反応とホモジニアス反応	千葉 仁志・小林 邦彦	52(5)
(2) ラジオイムノアッセイ	内村 英正	55(5)
(3) 酵素免疫測定法	矢部 茂季・小林 功	57(5)
(4) 蛍光イムノアッセイ(FIA)	橋本 琢磨・西部万千子	61(5)
(5) カウンティングイムノアッセイ	橋本 好一・太田 拔徳・櫻林郁之介	67(5)
(6) 化学発光免疫測定法, スピンイムノアッセイ	笠原 靖	69(5)
(7) フローサイトメトリー	中原 一彦	74(5)
(8) イムノセンサ	相澤 益男	77(5)
(9) イムノプロットティング	川端 真人	80(5)
(10) 蛍光抗体法	岡部 英俊・越智 幸男	82(5)
各論		
I. ホルモン		86(5)
1. 下垂体		
(1) GH, ソマトメジンC	中井 利昭・竹越 一博	86(5)
(2) ACTH	竹下 栄子	89(5)
(3) LH, FSH	左雨 秀治	92(5)
(4) プロラクチン	山本 剛史	96(5)
(5) バゾプレシン(抗利尿ホルモン)	山本 英明・赤司 俊二	99(5)
2. 甲状腺・副甲状腺		
(1) T ₄ , フリーT ₄ , T ₃ , フリーT ₃	上條 桂一・成田 明宏・中村 克司	102(5)
(2) TBG	森 祐一	105(5)
(3) TSH	須川 秀夫・森 徹	107(5)
(4) TSH 受容体抗体		

……………玉置 治夫・網野 信行	110(5)
(5) サイログロブリン……………加藤 亮二	113(5)
(6) PTH, PTHrP …小倉 美河・山田 行雄・岡野 一年	116(5)
(7) カルシトニン……………福永 仁夫	120(5)
3. 副腎皮質(レニン・アンジオテンシン系) …成瀬 清子・成瀬 光栄・出村 博	123(5)
4. 膵・消化管	
(1) インスリン……………佐藤 信行	126(5)
(2) C-ペプチド……………佐久間伸子	128(5)
(3) グルカゴン…河西 浩一・石田 俊彦	131(5)
(4) ガストリン……………谷 礼夫	134(5)
5. 性腺ホルモン	
(1) hCG, β -hCG ……………盛本 太郎・齋藤 裕	137(5)
(2) エストロゲン ……………平田 修司・加藤 順三	140(5)
(3) HPL……………磯部 淳一	143(5)
6. その他の内分泌	
(1) エンケファリン……………山北 宜由	145(5)
(2) エリスロポエチン……………小堺加智夫	148(5)
(3) オステオカルシン ……………富田 明夫・根来 良材	151(5)
II. 腫瘍マーカー……………	154(5)
1. CEA……………石井 勝	154(5)
2. SCC……………櫻川 信男	156(5)
3. NSE……………須藤 英一・四元 秀毅	158(5)
4. α -フェトプロテイン……………大久保昭行	160(5)
5. CA 19-9, CA-50, SPan-1, エラスターゼ 1, KMO 1, POA …竹岡 啓子・西 功・網野 信行	162(5)
6. PAP, PSA, γ -Sm …野垣 譲二・蜂矢 隆彦・岡田 清己	168(5)
7. CA 125, CA 15-3……………中山 年正	171(5)
III. 血漿蛋白……………	173(5)
1. 免疫グロブリン	
(1) 免疫グロブリンの定量(IgG, IgA, IgM)……………井本真由美	173(5)
(2) 血漿蛋白の異常(M-蛋白, クリオグロ ブリン)……………橋本寿美子・河野 均也	176(5)
2. 急性期反応物質	
(1) CRP …亀子 光明・奥村 伸生・勝山 努	179(5)
(2) α_1 -アンチトリプシン……………西田 陽	182(5)
(3) α_1 -酸性糖蛋白……………大竹 皓子	185(5)
(4) IAP……………大島 一洋	187(5)
3. アポ・リポ蛋白	
(1) アポ蛋白……………武内 望	189(5)
(2) Lp(a)……………山下寿美子・野間 昭夫	192(5)
IV. 尿中微量蛋白……………	195(5)
1. 尿中低分子蛋白質— β_2 -m, α_1 -m を中心に ……………山口 哲司・伊藤 喜久	195(5)

2. 尿中マイクロアルブミン	伊瀬 恵子	197(5)
V. 自己免疫・アレルギー		199(5)
1. 自己免疫		
(1) リウマチ因子	島岡 康則	199(5)
(2) 抗核抗体	秋月 正史・三森 経世・山縣 元	202(5)
(3) 免疫複合体	上床 周	205(5)
(4) 抗リン脂質抗体	遠藤 安行	208(5)
(5) サイログロブリン抗体, マイクロソーム抗体	中埜 幸治	210(5)
(6) 抗ミトコンドリア抗体	高崎 芳成	213(5)
2. アレルギー		
(1) 非特異的 IgE	伊藤 幸治	215(5)
(2) 特異的 IgE 抗体	灰田美知子	218(5)
VI. 補 体		221(5)
1. 血清補体価(CH 50)	岩田 進	221(5)
2. 補体成分蛋白(C 3, C 4, C 1q)	木佐木友成	224(5)
3. 補体レセプター	天野 哲基	226(5)
VII. 凝 固		230(5)
1. 血小板第 4 因子, β -トロンボグロブリン, 血小板糖蛋白	長谷川雄一・長澤 俊郎	230(5)
2. フィブリノゲン, AT III, FDP	村嶋 正幸・出口 克巳	235(5)
3. 凝固因子	斉藤 正典	240(5)
4. TAT, F ₁₊₂ , FPA, B β ₁₅₋₄₂	細莊 和子・藤巻 道男	243(5)
5. プラスミノゲン, α_2 PI, PIC	香川 和彦・福武 勝幸	245(5)
6. tPA, PAI, tPA-PAI-1 複合体	天野 景裕・福武 勝幸	249(5)
7. プロテイン C, プロテイン S	黒澤晋一郎	253(5)
8. ループスアンチコアグラント	大久保 進	258(5)
9. PIVKA-II	中尾 昭公	261(5)
VIII. 感染症		263(5)
1. 細菌・クラミジア感染症の免疫検査		
(1) 呼吸器感染症	山下 祐子・河野 茂	263(5)
(2) 中枢神経系感染症	斉藤 知子	266(5)
(3) 消化管感染症	中尾 浩史・竹田 多恵	269(5)
(4) STD	横澤 光博	272(5)
(5) スピロヘータ感染症	川端 真人	275(5)
2. リケッチア感染症の免疫検査	海保 郁男・時枝 正吉	279(5)
3. ウイルス感染症の免疫検査		
(1) 肝炎	飯田 真司	282(5)
(2) レトロウイルス感染症(HIV, HTLV-I)	吉原なみ子	286(5)
(3) ヘルペスウイルス感染症	中村 良子	289(5)
(4) 発疹性疾患	田島 剛・目黒 英典	296(5)
(5) 呼吸器感染症	草野 展周	298(5)

(6) 中枢神経系感染症	田島マサ子	301(5)
(7) ウイルス性急性胃腸炎	今村 宜寛・新宮 正久	304(5)
4. 真菌感染症(深在性)	阿部美知子・大谷 英樹・久米 光	308(5)
5. 原虫疾患	大友 弘士・片倉 賢	312(5)
IX. 薬物の免疫学的測定	宮本 元昭	315(5)
X. 輸 血		318(5)
1. 血液型—ABO 型, Rh 型検査法	富田 忠夫	318(5)
2. 交差適合試験	佐藤 千秋・渋谷 温	322(5)
3. 抗グロブリン試験と不規則抗体	加藤 俊明・関口 定美	325(5)
4. 抗血小板抗体検査法	金 信子・高橋 孝喜	331(5)
5. HLA 検査(抗白血球抗体を含む)	宮本 正樹・十字 猛夫	335(5)
6. 自己血輸血の実際	田崎 哲典	340(5)
7. 輸血検査の精度管理	平野 武道・半田 誠・田野崎隆二 上村 知恵	343(5)
8. 輸血副作用と検査	遠山 博	348(5)
XI. 細胞免疫		352(5)
1. T・B 細胞サブセット, 血球表面マーカー	杉田 完爾・中澤 眞平	352(5)
2. NK 細胞検査と ADCC	押味 和夫	355(5)
3. リンパ球幼若化試験	中尾 實信	358(5)
4. T 細胞レセプター	鈴木 敏雄・森 泰二郎	362(5)
5. サイトカイン	笠原 忠	365(5)
XII. 免疫組織化学		369(5)
1. 病理診断における免疫組織化学—上皮性腫瘍の特徴	深山 正久・林 幸子	369(5)
2. 非上皮性腫瘍の免疫組織化学的特徴	福永 真治	376(5)
3. 非腫瘍性疾患と免疫組織化学	大塚 成人	380(5)
4. 細胞診における免疫組織化学	伊藤 仁・都竹 正文	383(5)
5. <i>in situ</i> hybridization	澤井 高志・宇月 美和・高橋 裕一	386(5)
XIII. その他		390(5)
1. フィブネクチン	片山 政彦	390(5)
2. コラーゲン	本村 光明	393(5)
3. 糞便中ヘモグロビン	斎藤 博	396(5)
4. 寒冷溶血反応	浅川 英男・遠井 初子	399(5)
話 題		
MRSA PBP 2' の検出	斎藤 充弘	37(5)
免疫検査の精度管理	柴崎 光衛・森 三樹雄	48(5)
免疫検査における偽陰性・偽陽性	島川 宏一	54(5)
遺伝子検査と免疫検査の利点と欠点		

……………久保 信彦・剛 勇………… 66(5)	
肝細胞増殖因子(HGF)の臨床応用	
……………石井 健久………… 73(5)	
組織性プラスミノゲンアクチベータ(t-PA)	
……………上嶋 繁………… 79(5)	
コロナー刺激因子(CSF) ……………晶 清彦………… 95(5)	
腫瘍壊死因子(TNF) ……………仙 源一郎…………104(5)	
インターフェロン ……………佐野恵海子…………122(5)	
インターロイキン2 ……………秋山由紀雄…………139(5)	
インターロイキン3 ……………西田 淳二…………150(5)	
インターロイキン4	
……………松田 育雄・新井 賢一…………175(5)	
インターロイキン5 ……………高津 聖志…………194(5)	
インターロイキン6 ……………田賀 哲也…………220(5)	
上皮成長因子(EGF)ーその受容体とシグナル	
伝達……………宮田 愛彦…………242(5)	
神経成長因子(NGF) ……………古川 美子…………271(5)	
血小板由来成長因子(PDGF) ……加治 和彦…………274(5)	
PCR ……………田村 尚亮…………295(5)	
輸血された血液中のリンパ球の反乱ー輸血後	
GVHD ……………原 宏…………300(5)	
骨髄バンク ……………森島 泰雄…………311(5)	
骨髄移植の適応 ……………岡本真一郎…………317(5)	
人工担体 ……………三谷 勝男…………357(5)	
トランスジェニックマウス ……宮崎 純一…………389(5)	
細胞接着因子と疾患 ……………中嶋 千晶…………398(5)	
目次索引 ……………8(5)	
略語一覧 ……………10(5)	
編集後記 ……………岩田 進…………402(5)	

[トピックス]

OPA(orphan peak analysis)法による遺伝子

変異の検出……………神谷 重樹・服部 正平………… 78(1)	
腎症候性出血熱 ………………富山 哲雄………… 79(1)	
染色体, DNA 分析と病理組織診断	
……………土橋 洋………… 81(1)	
ホルター心電図による ST 変化の新しい表現	
方法 ………………原 正壽・金子 睦雄………… 82(1)	
胸腺外 T 細胞分化とその意義	
……………牧野 康彦・谷口 克…………177(2)	
血友病の遺伝子解析 ………………大岩 道明…………178(2)	
技師会情報通信ネットワーク(AAMT-NET)	
……………木村 清隆・菅原 博之・奈良 幸一…………179(2)	
IL-12 ………………熊倉 俊一・山内 康平…………180(2)	
ミトコンドリア遺伝子異常による糖尿病	
……………小田辺修一・佐倉 宏・門脇 孝…………239(3)	
CLIA '88 ………………佐藤 誠也…………240(3)	
ネコひっかき病 ………………浅野 隆司…………371(4)	

HCV の genotype とインターフェロン療法の

効果……………八橋 弘・矢野 右人…………372(4)	
AGE(advanced glycation end products)	
……………小森 広美・梶沼 宏…………373(4)	
筋線維芽細胞 ………………円山 英昭…………375(4)	
検査部業務量の定量化 ………………只野壽太郎…………457(6)	
わが国の喫煙防止教育研究の課題	
……………野津 有司…………458(6)	
アミリン(IAPP) ………………三家登喜夫…………459(6)	
転写因子 ………………大屋敷純子・外山 圭助…………461(6)	
HPLC を用いた尿蛋白定量法 ……大澤 進…………539(7)	
アクア酸化水 ………………岩沢 篤郎・中村 良子…………540(7)	
血小板プロテアソーム	
……………左近 賢人・湯川 真生・上林 純一…………541(7)	
喫煙と肺胞マクロファージ ……………石原 陽子…………542(7)	
心筋炎の発症とサイトカイン	
……………松森 昭・篠山 重威…………605(8)	
幼若血小板	
……………武内 恵・川合 陽子・渡辺 清明…………606(8)	
ADF/チオレドキシンとレドックス制御	
……………佐登 宣仁・北岡 有喜・淀井 淳司…………607(8)	
学位授与機構ー医療短大卒後放送大学で学士	
(4 年制卒)を取得する方法……………桑 克彦…………741(9)	
大型放射光施設ーSPring-8 ………………宇山 親雄…………742(9)	
強心剤ジギタリスの薬効機序	
……………後藤 秀機・柴山 理恵・上山 章光…………744(9)	
遠隔病理診断システム ………………高橋 基夫…………833(10)	
フローサイトメトリーによる尿沈渣測定	
……………伊藤 機一…………834(10)	
血小板活性化と Ca^{2+} ………………藤元 哲郎…………836(10)	
脳磁計による脳機能検査 ………………中里 信和…………908(11)	
多剤耐性因子遺伝子	
……………加藤 詳子・西村 純二…………909(11)	
パラフィン切片上での癌遺伝子蛋白の免疫組	
織染色	
……………土橋 洋・福島 純一・堀内 啓…………910(11)	
HCV の性的感染および母子間感染	
……………黒木 哲夫・西口 修平…………1019(12)	
無重力状態における生理機能の変化	
……………大久保昭行…………1020(12)	
VIDAS による抗原検出 ………………吉田 勝彦…………1021(12)	
ストレスとビタミン ………………苦米地孝之助…………1106(13)	
劇症型 A 群レンサ球菌感染症 ……兼板 佳孝…………1107(13)	
新型コレラ菌 O 139 Bengal とその流行	
……………竹田 美文…………1108(13)	

[検査データを考える]

細胞診と組織診の結果が一致しないとき

……………堀内 啓・坂本 穆彦………… 69(1)	
急性心筋梗塞における生化学的マーカーの意	
義……………西山信一郎…………165(2)	

PT, APTT 延長 …粉川 皓年・野村 昌作……	231(3)
細菌検査データ ……………菅野 治重……	359(4)
意識障害の脳波 ……………山内 俊雄……	447(6)
膿尿 ……………小野寺昭一……	531(7)
QRS 幅の広い心電図 ……………松原 哲・大久保豊幸……	729(9)
血漿浸透圧と尿浸透圧 ……………飯田 喜俊……	823(10)
円柱尿 ……………伊藤 孝仁・山内 淳 ……………杉浦 寿央・上田 尚彦……	917(11)
抗血栓剤使用時の凝固線溶検査 ……………川合 陽子……	1013(12)
貧血一種類と見分けかた ……………廣重 幸雄……	1095(13)

〔明日の検査技師に望む〕

暖かい、協調性のある検査技師 …熊坂 一成……	23(1)
検査技師を思う ……………足立 山夫……	110(2)
技師の“国際的活躍の期待” ……網野 信行……	202(3)
ME 機器の JIS とその取り扱い …竹内 清……	310(4)
高度化する医療の実践を担う臨床検査技師 ……………大西 俊造……	392(6)
仕事が楽しいですか? ……………福島 範子……	480(7)
職人気質 ……………吉永 馨……	564(8)
Instrumentation から見た臨床検査 ……………保田 和雄……	672(9)
検査技師の選ぶべき道 ……………吉原 博子……	768(10)
真の医療人として ……………遠藤 庄蔵……	854(11)
検査医学の担い手としての臨床検査技師 ……………濱崎 直孝……	964(12)
自己管理ができていますか!! ……堀越 晃……	1040(13)

〔けんさアラカルト〕

生理学的検査の業務拡大 ……………松本 信也……	50(1)
緊急検査の注意点 ……………飯田 暢子……	118(2)
二級臨床病理技術士資格認定試験について ……………町田 勝彦……	226(3)
米国における検査技師の資格 ……森 三樹雄……	342(4)
ここが変わった ME 機器の JIS …内藤 正章……	404(6)
検査部門の試薬管理の実態を探る ……………森嶋 祥之……	492(7)
“検査試薬流通”へのユーザーからのメッセ ーじ……………森嶋 祥之……	604(8)
国家試験と教育—生化学の分野から ……………太田 英彦……	708(9)
胃および腸生検標本の取り扱い …町並 陸生……	800(10)
食事と検査値 ……………岡部 紘明……	868(11)
新しい病気の発見法 ……………宮井 潔……	976(12)
放送大学と臨床検査技師 ……………清水 隆之……	1054(13)

〔今月の表紙〕

扁平上皮癌細胞 ……………古田 則行・都竹 正文・坂本 穆彦……	24(1)
腺癌細胞 ……………古田 則行・都竹 正文・坂本 穆彦……	187(2)
中皮細胞 ……………古田 則行・都竹 正文・坂本 穆彦……	223(3)
小円形細胞肉腫の細胞診 ……………古田 則行・都竹 正文・坂本 穆彦……	343(4)
滑膜肉腫の細胞診 ……………古田 則行・都竹 正文・坂本 穆彦……	436(6)
呼吸器系感染症の細胞診 ……………古田 則行・都竹 正文・坂本 穆彦……	500(7)
子宮頸部上皮内腺癌の細胞診 ……………都竹 正文・古田 則行・坂本 穆彦……	614(8)
唾液腺の粘表皮癌細胞 ……………都竹 正文・古田 則行・坂本 穆彦……	671(9)
甲状腺髄様癌の細胞診 ……………都竹 正文・古田 則行・坂本 穆彦……	828(10)
前立腺癌細胞の細胞診 ……………都竹 正文・古田 則行・坂本 穆彦……	878(11)
悪性血管外(周)皮腫 ……………都竹 正文・古田 則行・坂本 穆彦……	991(12)
子宮の高分化型腺癌細胞 ……………都竹 正文・古田 則行・坂本 穆彦……	1053(13)

〔けんさ質問箱〕

血清による血糖検査 ……………佐藤 忠弘・本原 邦子・中村のり子 ……………本山 玲子・松下 悟……	85(1)
真菌症の免疫学的検査法 ……………阿部美知子・久米 光……	86(1)
不規則性抗体の血球試薬のアンチグラムパタ ー……………刀根 勇一・加藤 俊明 ……………関口 定美……	88(1)
MRSA の定義……………菅野 治重……	183(2)
生化学検査のデータの相違 ……………金原 清子・中山 年正……	184(2)
心電図微小電位検出法 ……………小沢友紀雄……	241(3)
CRF 患者の検査報告 ……………杉内 博幸・岡部 紘明……	244(3)
外注検査データの読みかた ……持田 嘉之……	246(3)
筋電図検査の標準法 ……………木村 格……	377(4)
尿沈渣検査分野における特殊顕微鏡の有効な 活用法……………宇都宮弘美……	378(4)
CO ₂ 濃度の酵素的測定法 ……………桑 克彦……	464(6)
リポ蛋白組成 ……………安部 彰・前田 悟司……	465(6)
血清酵素活性測定の測定温度 ……桑 克彦……	546(7)
腹部超音波検査における脾の計測	

……………南里 和秀……548(7)	
ギムザ染色の留意点	
……………石原 力・城下 尚……609(8)	
透析患者のクロスマッチ検査 ……武田 敏雄……611(8)	
末梢血液塗抹標本の細胞破壊像 ……武藤 良知……612(8)	
小児の検尿 ……………村上 睦美……747(9)	
小児の血液型判定—オモチ・ウラ不一致の場合……………重田 勝義……748(9)	
治療後患者の尿沈渣異型細胞の報告	
……………西 国広・藤 利夫……749(9)	
嚢胞腎と多房性腎嚢胞の超音波検査における鑑別……………寺沢 良夫・広田むつ子……839(10)	
HCV-Ab の判定 ……大越 章吾・上村 朝輝……840(10)	
クロージングボリューム ……………進藤千代彦……931(11)	
クロストリジウム染色の染色性変化	
……………田中香おり・渡邊 邦友……932(11)	
リンパ腫(白血病)の鑑別点 ……………山口 潜… 1024(12)	
網赤血球検査の信憑性 ……………平田 龍三… 1025(12)	
超音波検査上の資格 ……………遠田 栄一… 1026(12)	
糞便中の食物残渣 ……………長浜 大輔… 1111(13)	
ブドウ糖負荷試験と食事負荷試験	
……………佐藤 信行・梶沼 宏… 1114(13)	

〔ワンポイント・アドバイス〕

医療に役立つサーベイのやりかた ③ 活性測定系……………野澤 修…… 77(1)	
一般検査システムを作る際のポイント	
……………石川 洋子……148(2)	
OTC 検査薬について……………河合 忠……199(3)	
臨床検査技師卒後教育としての医科学修士課程進学の道……………行正 信康……351(4)	
大学院生となって—抗核抗体の精製	
……………金子 孝昌……424(6)	
整理学のすすめ ① 余分なものの捨てかた	
……………臼井 敏明……486(7)	
整理学のすすめ ② 必要なものの捜しかた	
……………臼井 敏明……586(8)	
電顕用骨髄の固定法 ……………清水 進……678(9)	
細胞診検査と結核菌 ……………堀内 文男……808(10)	
臨床検査の評価のための実験計画法	
……………古川 敏仁……867(11)	
地域サーベイ実施の工夫 ① ……………立石 謹也… 1007(12)	
特染免疫染色をするまでのスメア標本の保存法……………斉藤 憲治… 1099(13)	

〔コーヒーブレイク〕

ゴムなどにできる針孔漏れ対策, 予防策(1)	
……………長谷川 博…… 30(1)	
ゴムなどにできる針孔漏れ対策, 予防策(2) 針が刺さる原理と特殊な針……………長谷川 博……117(2)	

臨床検査技師学校偶感 ……………江部 充……248(3)	
故郷は遠きにありて思うもの ……三浦 教次……354(4)	
A 群溶血連鎖球菌 ……………小林 芳夫……452(6)	
“もったいない”ということ ……江部 充……526(7)	
続・故郷は遠きにありて思うもの	
……………三浦 教次……596(8)	
『花の神話と詩』……………三浦 教次……694(9)	
don't look back ……………石井 達也……822(10)	
旬の野菜 ……………仲川 栄子……892(11)	
志賀潔先生の講義ノート ……………川端 邦弘… 1018(12)	
毛布柄と染色 ……………川端 邦弘… 1062(13)	

〔臨床検査技師国家試験〕……本誌編集委員会

解答速報 第 40 回臨床検査技師国家試験問題……463(6)	
第 40 回臨床検査技師国家試験問題 解答と解説	
……………615(8)	

〔その他〕

お知らせ

第 8 回サンプリング研究会 ……………37(1)	
第 10 回国際エイズ会議/国際 STD 会議 ……………47(1)	
第 8 回臨床検査精度管理奨励会研究報告会 ……………84(1)	
東京女子医科大学国際シンポジウム '94……………124(2)	
二級臨床病理技術士資格認定試験実施要領(平成 6 年度) ……………158(2)	
緊急臨床検査士資格認定試験実施要領(平成 6 年度)	
……………158(2)	
第 9 回(平成 6 年度)臨床検査精度管理奨励会研究奨励金交付募集要項 ……………330(4)	
医学・生物学電子顕微鏡技術研究会第 10 回学術講演会 ……………379(4)	
第 24 回日本脳波・筋電図学会学術大会 ……………467(6)	
第 16 回第 2 種 ME 技術実力検定試験 ……………506(7)	
第 1 回臨床細胞遺伝学セミナー ……………511(7)	
平成 6 年度一級臨床病理技術士第 39 回資格認定試験実施要領 ……………740(9)	
第 27 回細胞検査士資格認定試験実施要領(平成 6 年度) ……………746(9)	
第 8 回精度管理に関する国際シンポジウム	
(The 8th ISQC)一般演題募集 ……………912(11)	
第 5 回生物試料分析科学会学術集会 ……………1017(12)	
第 8 回臨床微生物迅速診断研究会総会 ……………1094(13)	
第 9 回サンプリング研究会……………1105(13)	
公益信託臨床病理学研究振興基金平成 6 年度研究奨励金受賞者および平成 6 年度小酒井望賞顕彰金受賞者決定 ……………1110(13)	

学会印象記・第 43 回日本臨床衛生検査学会

雑感 ……………片岡 和義……712(9)	
心の通う臨床検査を目指して ……手登根 稔……724(9)	

〔書 評〕

アメリカ医学留学の手引 第5版…中村 三郎……	68(1)
アメリカ医学留学の手引 第5版…中西 睦子……	145(2)
免疫工学の進歩 ……………宮坂 信之……	176(2)
細胞診を学ぶ人のために 第2版…加藤 治文……	297(3)
細胞診を学ぶ人のために 第2版…桜井 幹己……	346(4)
うまい医学論文の準備と作成 ……亀山 正邦……	364(4)
『臨床検査』93年増刊号 ロボティクスと臨床検査……………中 甫……	370(4)
Bioscience Series 病気と細菌毒素……………林 英生……	431(6)
病院のなかの英会話 第2版……………高柳 和江……	446(6)
尿沈渣アトラス ……………今井 宣子……	514(7)
臨床検査技術学 [3] 公衆衛生学……………糸川 嘉則……	538(7)

病院のなかの英会話 第2版……………岩川真由美……	603(8)
遺伝子と日常の病気 ……………長野 敬……	725(9)
臨床検査技術学 [11] 臨床血液学……………小河原はつ江……	728(9)
15カ国語診療対訳表 ……………庄司 道子……	821(10)
臨床検査技術学 [3] 公衆衛生学……………和田 功……	838(10)
解剖学カラーアトラス 第3版 ……外崎 昭……	886(11)
異常値の出るメカニズム 第3版 ……橋本 信也……	893(11)
くすりと検査の安心事典 ……………芝 紀代子……	1008(12)
解剖学カラーアトラス 第3版……………亀田 芙子……	1084(13)
その他	
平成5年度二級臨床病理技術士資格認定試験/緊急臨床検査士資格認定試験 全問題と解答……………	249(3)
臨床検査技師学校一覧 ……………	926(11)

■糖尿病学の最新の成果と医療の進歩を取り入れ大改訂 Q&A も充実!

糖尿病のマネージメント

チームアプローチと患者指導の実際 第2版

編集 平田幸正 東京女子医科大学名誉教授
 繁田幸男 滋賀医科大学教授・内科
 松岡健平 東京都済生会中央病院副院長

8年ぶりに改訂されたこの本は、医師はもとより薬剤師・栄養士・看護婦・保健婦などの必携書として親しまれてきたものである。しかし糖尿病学と医療の進歩は急速で、さまざまな角度からの見直しが必要になった。そこで一部の章では執筆者を変更し、全面的に再検討を加えた。また新たに低血糖、在宅ケア、手術に関する章を設けて医療のマネージメントの枠をさらに広げた。糖尿病のマネージメントは、いうまでもなく医療専門職と患者ひとりひとりの総合的なチームワークによって目的が達せられるものである。この本は、すべての医療従事者を対象として書かれたものであり、糖尿病マネージメントの達成に役立てていただきたい。

■主要内容

1. 診断
糖尿病とはどんな病気か／診断の仕方／集団検診
2. 治療
糖尿病コントロールの指標／尿糖・血糖自己測定法の指導／食事療法／運動療法／経口薬による治療／インスリン療法／低血糖症状と対策／民間療法の是非
3. 生活指導
患者教育の方法と技術／一般診療所での患者指導の実際／糖尿病患者教育チームの形成／在宅ケアの実際／社会生活と糖尿病／小児の糖尿病／妊娠と糖尿病
4. 合併症の予防と対策
糖尿病患者の合併症／糖尿病と動脈硬化／糖尿病と眼／糖尿病による腎障害／糖尿病の神経障害／糖尿病と泌尿器系の障害／糖尿病と足／糖尿病と消化器系の障害／糖尿病と感染症／糖尿病性昏睡／糖尿病患者と手術
付録＝日本糖尿病協会本部・支部・視覚障害者更生施設／サマーキャンプ開催地一覧

●B5 頁360 図48 写真6 1994 定価4,944円(税込) 〒400 [ISBN4-260-10856-5]



医学書院

113-91 東京・文京・本郷5-24-3

☎03-3817-5657 (お客様担当) 振替 00170-9-96693
 ☎03-3817-5650 (書店様担当)